



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARY CLUB / FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】：「経験」を生かして未来へ「挑戦」

会 長 小丸日出夫 副 会 長 小泉 繁勝 幹 事 高木 洋一 S A A 井上 裕司 会報委員長 細山勝三郎	2017~2018 第 2181 回例会 2018 年 1 月 23 日	例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘 例会場 川崎市中原区小杉町 3-10 ホテル精養軒 TEL(044)711-8855 事務所 川崎市中原区小杉町 3-428 山協ビル 402 号 TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334 E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp URL: http://www.kawanaka-rc.com
---	--	--

例 会 報 告

開会点鐘	小丸日出夫 会長
司 会	井上 裕司 SAA
合 唱	「我らの生業」
お客様紹介	朝倉親睦活動委員

ゲスト 若狭 滋則様	川崎中原ロータリークラブ
ゲスト スコ・マシュー・ジョーダン・エカーさん	2017-19 年度米山奨学生 (カナダ)

今後のプログラム予定

2 月	プログラム名
第 2 例会 2 月 13 日	会員お祝い 地区拡大委員長 樋口 明様 「会員増強のための How to あるクラブの事例」 理事役員会
第 3 例会 2 月 20 日	卓話 萩原ひとみ会員
第 4 例会 2 月 27 日	IM エポックなかはら

出 席 報 告

市川 実出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率	
44 名	31 名	対象外 (7)	83.78%	対象外 (7)	MU0 名 91.89%

【本日の欠席者】 三木 治一会員 宇田 章二会員
 小林 敏伸会員 清水 専吉会員 松井 孝至会員
 井上 光明会員 鹿島 義久会員 森田 淳 会員
 高木 洋一会員 渡邊 新治会員 金子 利昭会員
 叶野 聡 会員 志村 修司会員

ニコニココーナー

原 敏之 (補) SAA

若狭 滋則様：よろしくお願ひ致します。
 内藤 幸彦ガバナー補佐：雪景色はきれいで着く気分ですが、自電車で来るのは少し厄介でした。でも皆様ご出席ご苦勞様です。きっと今年も良いことが期待できると思います。
 小丸 日出夫会長：昨日の雪には参りました。雪国生ま

れの私でも雪に関しての良い思い出は一つもありません。ガバナー補佐内藤様、本日の卓話よろしくお願い致します。

伊藤 文治会員：内藤ガバナー補佐様、本日はスピーチを頂きありがとうございます。

川口 禮敬会員：大雪大変でしたね。内藤幸彦会員卓話ご苦勞様です。楽しみに拝聴させて頂きます。

小島 徹会員：内藤幸彦ガバナー補佐卓話よろしくお願致します。

中山 武夫会員：内藤ガバナー補佐、卓話ご苦勞様です。

廣山 宗一会員：内藤ガバナー補佐卓話よろしく。

富岡 昭一会員：内藤ガバナー補佐、本日の卓話楽しみに拝聴させて頂きます。

細山 勝三郎会員：内藤ガバナー補佐の卓話楽しみに聞かせてもらいます。

白井 正男会員：内藤幸彦ガバナー補佐、卓話よろしくお願致します。楽しみです。ご苦勞様です。

田邊 進会員：内藤ガバナー補佐、本日は卓話よろしくお願致します。

小島 満会員：内藤幸彦さん卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

島 利夫会員：内藤ガバナー補佐、卓話ご苦勞様です。

柁木 國義会員：内藤様卓話楽しみにしています。

合計件	15	17,000 円
累計	412 件	503,000 円

会長報告

小丸 日出夫会長

- 1.地区より 2018-19 年度国際ロータリーテーマ決定のお知らせが届いております。【2018-19年度 RI テーマ】
<英語> BE THE INSPIRATION
<日本語> インスピレーションになろう
回覧いたします。
- 2.ロータリー財団管理委員会より当クラブ宛に以下の感謝状 (2016-17 年度) が届いております。・End Polio Now : 「歴史に 1 ページを刻もう」キャンペーンの感

謝状 (ポリオプラスへ 1,500 ドル以上を寄付したクラブに贈られます)

3.公益財団法人 盲導犬協会より会報誌 盲導犬クラブが届いております。回覧いたします。

4.ハイライトよねやま 214 が届いております。回覧いたします。

幹事報告

貝田 充 副幹事

1.例会変更

川崎中央 1月29日(月) 新春夜間例会→通常例会に変更

2月12日(月) 休会

2月26日(月)→27日(火)に変更 IMに参加

川崎高津 2月22日(木)→27日(火) 移動例会

IM 開催

川崎南 2月13日(火) 休会

2月27日(火) 移動例会 IMに参加

3月20日(火) 休会

川崎マリーン 2月15日(木) 創立25周年記念夜間例会 点鐘 18:00 川崎日航ホテル 12F

2月22日(木)→27日(火)に変更 IMに参加

川崎麻生 2月9日(金) 職場訪問 読売ジャイアンツ 球場視察見学 グリーンクラブ「天安」 点鐘 12:30

2月16日(金) IM (27日(火)) の振替休会

2月23日(金) 創立記念例会 18:00~旭寿司本館

2月27日(火) IMに参加

2.会報受領 川崎北 RC 川崎中原 C 回覧いたします。

3.年会費 (1月~3月) 88,500 円を 1/4 (木) にご指定の口座より引き落としさせていただきました。現金で納入の方は例会時にお願致します。

(内訳) 地区事業資金 13,500 円

年会費 (1月~3月) 75,000 円

4.次週 1/30 は、休会です。

再来週 2/6 は、6RC 合同例会です。(精養軒)

米山奨学金授与

シスコ・マシュウ・ジョウダン・モンカーさんへ



卓話

演題：「前半期を振り返って：各クラブの良さ」



内藤ガバナー補佐

皆様のご支援の元、ガバナー補佐を務めさせて頂きまして6ヶ月が経ちました。この半年間に自クラブの例会出席（20回）他、残り5クラブへの訪問、クラブ協議会、ガバナー公式訪問、地区主催各委員会の委員長会議、地区大会実行（準備）委員会、地区大会、IM準備会、米山、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、財団学友イベント、ガバナー補佐連絡会、6クラブ会長・幹事会、年末家族会と数えますと、計90回ほどの出番がございました。最初、ガバナーはほぼ毎日、補佐は通算180回ほどと聞いていましたので、前半は聞いていた通りの頻度かと思えます。

そして面白いことに出番が増えれば増えるほど、楽しみも増えました。その楽しみの大きい点は、何と云っても人の輪が増えてきたことです。それも尊敬が来て、興味を引く人々とのふれあいが多くなったことです。この社会を良くして行こうと行動している善意の心をお持ちの人々であって、且つ事業を経営して行く能力もあり、また、弁護士、税理士、設計士、会計士、社会労務士、等々事務所を構えていらっしゃる方々も多く、その中で活動出来ることはとても勉強になります。ロータリークラブの成り立ちの原点にある、異なる職業人が集まって事を成すという形態はとても素晴らしいことだと感じています。

さて、この半年で私が肌で感じたことを話したいと思います。

1) 第2590地区：日本の34地区の中で一番狭い範囲の地区であることは、きっと世界のどの地区よりも面積が狭い地区だと思います。ガバナーが飛行機で移動しなければ訪問出来ない地区や、私がGSEの団長でアメリカ訪問した時のように、車で何時間も走らないと隣の地区に辿り着かないといった不便はありません。従って、直接顔を合わせてコミュニケーションが取れる利点があります。また、現在の湯川ガバナー年度の地区副幹事には女性も多く、年齢的にも40～50代といった若手がいて、60代、70代、80代のベテランが後ろでサポートしているといった感じがします。

2) 他クラブで見聞きした良さ：

- ①「年の初め」に会員の年初スピーチを毎年恒例にしていたり、夫人デーを設けて家族サービスに努めている。
- ②地区補助金での活動を継続的に企画している。
- ③例会場に入ると、若手会員の活発な動きが良く見られる。
- ④地区の委員会への参加が若手も含め活発であって、その活動が例会に活気をもたらしている。
- ⑤例会場の着席位置に工夫を凝らしていて、誰とでも話が出来ると雰囲気を作っている。
- ⑥例会数の減少をカバーするために夜間の勉強会を開催していたり、研修に対する意識が高い。
- ⑦会員全員の増強に対する意識が高い。
- ⑧例会数を減らしたり、朝や夜間例会に変更したり、工夫を凝らしているクラブが多くなったが、クラブの活性にすぐ表れているかどうかは、まだしばらく様子を見る必要がありそうである。

ロータリーというものを、象に例えれば、耳はハタハタとたなびくように見えるし、足は大きくて重いものとして認識する。見るところによって違うようです、ロータリーという全体像を認識するためには、その全体像をつかむには、やはり研修が必要なのではないでしょうか。川崎のロータリークラブと横浜のロータリークラブの

比較という点でいえば 例えば 職業奉仕活動においては、横浜においては、副校長になるにはロータリークラブ会員が経営する会社において職業訓練を行はないとなれない、川崎においては、まだそこまで職業奉仕活動はゆきとどいていないということでもあります。

又 ロータリアンは社会に対して何をすべきかという課題に対して、各ロータリアンが研修に意識を持っていかなければならないのではないかと思います。

明るく前向きなクラブは、会員増強への意識が強いクラブが多いと思います。

1年で42名増強の、大宮西ロータリークラブは、会員の職業をタブー視しないと言われています。

お互い会員同士の職業を知り合いながら会員の強い絆の親睦につなげるということで増強につながっているとの事です。

又51名増強の高崎ロータリークラブは、会員各々が「三種の神器」となるものを会員各々がいつも携えていると聞きます。

その影響で川崎マリンロータリークラブでは、三種の神器として、同じようなものを作成しております。

ガバナーノミニーを出すクラブとしての勢いが感じられます。

川崎北ロータリークラブにおいても、入会のしおりを作成しております。

我がクラブでも45周年の時に、記念誌に出したごとき写真を活用して川崎中クラブとしての歴史を作成していただけるのではないのでしょうか。

人生色々なので、色々なご意見もあることと思います
ただし、ロータリアンである以上はロータリー活動を楽しむ生き方をしたいと、ガバナー補佐になって更に強く思っています。